

# 住宅困窮者に朗報

## NPO法人が手助け

厚生労働省は12月12日、非正規雇用労働者で、解雇や契約切れ、中途解除などで寮や社宅を退去しなければならなくなった人たちを対象に最大1人186万円の緊急低利融資を決定した。

ハローワークを通して実施されるこの制度だが、対象になった人は、入居費用(敷金等)50万円、家賃6か月分36万円、就職活動、生活費半年分100万円の計186万円が低利で融資され、6ヶ月以内に就職すれば返済金の一部が免除される。

多摩地区のハローワークでは「対象者の資格に当てはまらない人もいて、まだ決定は少数です。住宅確保の証明である契約書などを持参されれば手続きは迅速に行います」としている。

せっかく厚労省が思い切った施策を打ち出したが、受け入れ先の民間賃貸住宅では、家主側の入居審査にはねられてしまう場合が多く、部屋を見つける段階で、資金面とともに壁に突き当たるケースもあるという。こうしたケースに対

応しているNPO法人では「求職中であつても家賃支払いの目処が立つのであれば、食事や当面の仕事の斡旋など様々な応援を含めて、提携先の不動産管理会社や当方で運営している食事付きマンションに入居できるような相談を受けます」と制度の不備を補う動きをしている。

これはNPO法人オアシスらんど(高木伸一理事長)立川市錦町)。多摩や神奈川で食事付きマンションを展開、高齢者や生活保護受給者も入居できる

ことで話題になっている。また、提携している管理会社は首都圏で広く部屋を管理しており、就職活動の地域に合わせて入居相談に乗っていくという。同NPOの連絡先は042-540-8166

### 国分寺市2人目の副市長が就任

国分寺市(星野信夫市長)では、12月19日の市議会定例会本会議において、樋口満雄氏(58)が、1月1日付で副市長に選任された。これにより副市長は柴田賢次副市長と2人となった。

樋口満雄氏は、昭和50年同市役所に入職し、平成17年政策部政策担当部長、平成18年に政策部長を歴任。